

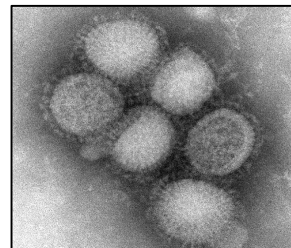
山口県感染症発生週報

(第48週:平成23年11月28日～12月4日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆結核: 第47週追加:1例(周南)。第48週:2例(岩国、周南)。



インフルエンザウイルス
CDC/ C. S. Goldsmith and A. Balish

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ◆インフルエンザ: 県全体の定点あたりの報告数は今週流行開始の目安の1.0を超えました。山口、周南、防府、長門から患者発生報告があり、特に山口からの報告が目立ちます。迅速検査では、A型陽性86例、B型陽性1例、臨床診断2例でした。また、当所の検査では山口市で学級閉鎖をした小学校の検体からA/H3(香港型)が2例検出されています。
- ◆RSウイルス感染症: 報告数は増減を繰り返しながら横ばい状況が続いていますが、今後急増する可能性がありますので今後の動向に注意が必要です。
- ◆感染性胃腸炎: 増加傾向がみられます。今後さらに増加する可能性がありますので引き続き注意が必要です。長門、山口、周南では警報レベルが続いています。また、岩国、防府もやや多い状況です。【警報レベル=長門、山口、周南】※
- ◆水痘: 報告数が先週の2倍以上と急増しています。山口、周南、防府、長門は注意報レベルです。【注意報レベル=山口、周南、防府、長門】※
- ◆伝染性紅斑: 柳井や周南からの報告が目立ちます。特に柳井は報告数が多く今週警報レベルとなりました。【警報レベル=柳井】※
- ◆マイコプラズマ肺炎: 報告数は8例でした。全国的に例年と比較してかなり多い状況ですので引き続き注意が必要です。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	46週	47週	48週	疾患名	46週	47週	48週
インフルエンザ	24	48	89	百日咳	0	6	1
RSウイルス感染症	49	60	55	ヘルパンギーナ	3	4	3
咽頭結膜熱	7	1	10	流行性耳下腺炎	17	27	27
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	104	71	103	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	558	462	560	流行性角結膜炎	4	4	6
水痘	75	62	150	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	24	18	14	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	16	14	24	マイコプラズマ肺炎	5	5	8
突発性発しん	48	35	42	無菌性髄膜炎	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	0	16	7	65	0	1	0	89
RSウイルス感染症	29	6	2	8	3	3	4	0	0	55
咽頭結膜熱	1	1	3	0	0	2	0	0	3	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	7	3	28	1	32	7	6	5	103
感染性胃腸炎	62	77	7	132	45	101	78	44	14	560
水痘	31	13	8	36	12	32	10	8	0	150
手足口病	0	7	2	1	1	1	0	0	2	14
伝染性紅斑	2	1	9	7	0	0	4	1	0	24
突発性発しん	13	1	1	8	1	12	5	0	1	42
百日咳	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
流行性耳下腺炎	17	5	0	3	0	0	0	1	1	27
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	0	3	0	0	0	2	0	0	6
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	2	4	0	1	0	0	1	0	0	8
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0